

専門的アーカイブの拡充（資料閲覧室運営）（③情03-08-3/5）

目 的

企画情報部では(1)受け入れした文化財関連の図書などの文字資料、作成したアナログ・デジタル画像資料の登録・管理、(2)閲覧室で月・水・金の週3回一般利用者への所蔵資料の提供、(3)データベースや検索システムの構築・運用を通常業務としている。前回の中期五カ年計画で定まった文化財関連資料や情報の収集・構築・公開の場として、質の高い専門的アーカイブの拡充を図る。あわせて、上記アーカイブに必要な不可欠である画像形成技術等の継続的な更新を行い、最先端の研究活動を支援することを目的とする。

成 果

資料閲覧室の運営

文化財に関する諸資料の収集・管理・公開・データベースの構築・運用を基本に、より充実したアーカイブ形成に努めた。その一環として近現代美術関係文献および美術全集掲載図版目録のデータベース化、インターネット上での公開を目指して『日本美術年鑑』のテキスト化を行った。また、劣化が進む資料類の保護対策の一環として貴重雑誌のCD-ROM化をすすめるとともに、所蔵ガラス乾板のデジタル化にむけての点検・整理を行った。また、国内外の関連機関との協力関係構築とへの取り組みと有効な資料公開システム構築のため協議を行った。

- ・ 図書の受入数：和漢書706件、洋書7件、展覧会図録・報告書等1,993件、雑誌2,191件（受入総数4,897件）
- ・ 目録所在情報：35種（作成件数68,523件、収録件数717,282件、公開件数702,511件）
- ・ インターネットで公開中の目録累計数：13種
- ・ 資料閲覧室の利用状況：公開日総数141日（利用者年間合計987人）

画像情報室

- ・ 他部・センター、他機関との共同調査研究により文化財の画像資料の収集・作成を行った。
- ・ デジタルコンテンツの多目的利用の一環である画像展示として東京文化財研究所エントランスパネル展示「洛中洛外図屏風（ロイヤル・オンタリオ美術館蔵）の修理について」（4/1-8/26）のための画像形成を行った。

その他

- ・ 06年度より継続の尾高鮮之助、和田新撮影フィルム画像を文化遺産国際協力センターの協力を得てデジタル化した。

企画情報部にて作成・更新中の35種データベース

所蔵和漢書（～07年）、受入和漢書（08年度分）、所蔵洋書、所蔵簡易図書、売立目録
 所蔵美術館博物館収蔵目録、和雑誌誌名、所蔵洋雑誌誌名、所蔵中国雑誌誌名
 所蔵韓国雑誌誌名、所蔵和雑誌巻号（～02年）、所蔵洋雑誌巻号（～05年）
 所蔵和雑誌巻号（03年以降）、所蔵洋雑誌巻号（06年以降）、所蔵中国雑誌巻号
 所蔵韓国雑誌巻号、所蔵地方公共団体刊行報告書、所蔵香取秀真資料関係
 展覧会（02年まで）、展覧会（03年以降）、近現代作家名、近現代展覧会開催情報（44年以降）
 写真原板、キャビネット写真、古美術文献目録（明治～65年）、近現代美術文献目録（59年～90年）
 美術館博物館名、東京文化財研究所年表、所蔵古美術展図録目次（89年～01年）、美術研究総目次
 所蔵近現代図録目次（48年～90年）、撮影調査票、古美術展覧会開催情報（44年以降）
 物故者記事、美術懇話会・開所記念展覧会出品目録

インターネット公開中の研究資料検索システムに提供中の13種データベース

美術関係図書
伝統芸能関係図書
保存修復関係図書
売立目録
展覧会カタログ
和雑誌
写真原板
美術関係文献
『保存科学』掲載文献
伝統芸能関係三雑誌掲載文献
『美術研究』掲載文献
近現代美術展覧会開催情報
伝統楽器情報

研究組織

○田中淳、津田徹英、山梨絵美子、勝木言一郎、塩谷純、綿田稔、皿井舞、江村知子、土屋貴裕、城野誠治、中村節子、中村明子、井上さやか、鳥光美佳子（以上、企画情報部）

無形文化財に関わる音声・画像・映像資料のデジタル化（③無03-08-3/5）

目 的

無形文化遺産部では、旧芸能部時代から、文献資料のほかに、音声・画像資料を積極的に収集してきた。これらの記録は極めて貴重であるが、記録メディアの進展に伴って、より好環境のもとに保存してゆく必要がある。このため無形文化遺産部では、画像・音声・映像資料の媒体転換を進めてきたが、将来的には、デジタル化された各種資料の集積によって、デジタル・アーカイブの開設を目指している。

概 要

本年度は、これまでに蓄積されてきた資料に加え、平成17年度までに寄贈を受けたアナログテープの媒体転換を中心に実施した。とくに、新たに受入れが完了した音声記録に関しては、これまでの資料を補完する分野に重点を置き、デジタル化を進めると同時に、デジタル化音声資料へのインデックス付与も行った。また、無形文化遺産部に昨年寄贈された歌舞伎舞台写真の整理に着手した。

研究組織

○宮田繁幸、高桑いづみ、飯島満、俵木悟、菊池理予、土田牧子、綿貫潤、星野厚子（以上、無形文化遺産部）